

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492 駿豆学園 令和3年5月31日 230号
TEL0558-99-0248・FAX99-0258



令和三年度を迎え

園長 天良 昭彦

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための情報収集や、それに基づく対応策検討の日々でした。令和三年度に入り、少しでも収束に向かうことを祈りつつ利用者の皆さんの安全を守り努力しておりますが、全国的に変異株の感染拡大、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言等、昨年度以上の危機感が否めません。ワクチン接種が始まったことで徐々に収束に向かってくれることを期待したいと思います。

令和三年度の行事や活動計画は、まずは例年通りの企画ができることを期待し進めていきますが、県や地域の感染状況に応じ、その都度変更や中止といった柔軟な対応をとりたいと考えています。また、対外的には中止と判断した企画であっても、職員と利用者のみで内容を縮小または変更し、代替的な企画として実施し利用者の生活の質が低下しないよう心がけて参ります。

外部との接点が希薄になっているのは職員も同様ですが、職員のスキルアップ等の人材育成は専門職とし

て不可欠です。施設内で企画される研修と外部で企画される研修を併用していく予定です。コロナ禍により、外部研修の大半がリモートとなっていることから、施設にいながら一度に複数の職員が研修に参加することができるメリットがあります。合わせて、個々に自己研鑽に励むことも奨励したいと思います。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策が最重点課題ではありますが、そればかりに目を奪われることなく、事故・虐待防止も変わらず重点課題としての認識を持ち、安全対策委員会を中心に対応して参ります。

令和三年度障害福祉サービス報酬改定では「身体拘束の適正化」「感染症対策の強化」「業務継続に向けた取り組みの強化」が、それぞれ経過措置期間が設けられたうえで指針の整備や研修、訓練の実施等が義務として示されています。すでに取り組んでいる部分もありますが、改めて見直し体系化したいと考えています。令和三年度もコロナ禍での活動となりません。報道等では「自粛疲れ」と言う表現をよく見聞きしますが、どんなに疲れようとも我々はそれを言い訳にはできません。収束までは自粛を継続していきたいと思えます。

無災害を祈念して

総務課長 山口 深志

春になり草木が芽吹きだすと駿豆学園の周りでは、メジロやウグイスなどの小鳥のさえずりが良く聞こえます。数年前から、聞き覚えのないあまり見かけない鳥がよく鳴くようになり、調べてみたら、「ガビチヨウ（画眉鳥）」という特定外来生物に指定されている鳥でした。ペットとして輸入された個体が逃げて日本に定着したと考えられています。

四月に発生した台風としては統計史上最も低い気圧を記録した台風二号は、猛烈な勢力に発達しました。台風が発達するためには海水温が高いことが必要となりますが、日本近海の昨年までの約百年間の海面水温の上昇は、世界の約二倍となっているそうです。台風の大規模化による風雨災害が無いことを祈っています。

駿豆学園裏山の急傾斜崩落対策事業ですが、静岡県からの補助金を受けながら伊豆市が行っている事業です。予算の都合から予定より工事が遅れていますが、学園利用者を土砂災害から守るための大きな事業です。一年でも早い完成を期待しています。

楽しい一年に

支援課長 青木 あけみ

令和三年三月末、毎年恒例の次年度のクラブ活動や行事担当職員を発表してもらいました。中でも日中活動の外出、おやつクラブと行事リフレッシュツアーの時は注目度が高く、四月からは「お店で食事が出るか。テイクアウトでは〇〇が食べたい。ドライブは行けるのか。終日の外出は出来るのか。カラオケはどうか」等真剣な表情で次々に質問がありました。「コロナの様子を見ながらになります」と答えると「またか。やっぱりな」と浮かない顔、顔……。今年度も新型コロナウイルスの状況を見ながらの活動となりそうですが、昨年の活動内容を参考に「今年も楽しかった。良かった。美味しかった」との声を頂けるような計画の提供を目指していきます。

四月、海辺でテイクアウト昼食やドライブを楽しみました。ドライブの行き先は市内中心ですが、今後とも継続して楽しめる事を願っています。今年も新任職員が二名加わりました。新旧職員共々今年度もよろしくお願ひします。

自分の身体と向き合って

看護師 山田 美津子

年齢を重ねてくると若いときには想像できなかった変化が出てきてい
るのを感じるようになり、このまま
ではいけないと思いつつ、日々気に
しながらも、何もしないで生活して
いた時期が続いていました。

ある時、友人がもう子供たちが自
立したから今度は自分がやりたいこ
とをしないと、海外留学へ旅立つて
いきました。その行動力に刺激され
私は何が一番やりたいのかを考えま
した。病院勤務の時期に昼夜問わず
緊張の連続の中で一番思ったことが
「運動したい!!」でした。

些細なきっかけでランニングを始
めSNSで全国のランナーと繋がり
田舎に居ても一人じゃないんだと思
え楽しく走れる喜びを感じました。
私の第三?の人生悪くないかも。
コロナ禍でも外に出て美味しい空気
を吸ってリフレッシュです。いつか
走れなくなってもラン仲間のサポー
トができる楽しみも出来てワクワク
しています。今できること、やりたい
ことを無理なく楽しんでいきたい
なあと日々思っています。

給食だより

栄養士 鍵山 智美

新型コロナウイルスの脅威にさら
されるようになってから、私たちの
生活も大きく変わりました。マスク
着用が当たり前となり、密にならな
いように他人との距離をとる、食事
は黙って食べる、今までのような賑
やかな食事風景が懐かしく感じられ
ます。

新しい給食システムに変更になっ
てから利用者の皆さんの咀嚼や嚥下
に合わせた形態の食事を提供するこ
とができていますが、既に献立が決
まっている為、以前のような誕生会
などのリクエストメニューに応じる
事ができないのが現状です。

しかし、一年が経過して感じた事
は、一日の献立の内容が全く同じ日
がない事、全国の郷土料理が献立の
中に入ったり、行事での食事も以前
と比べて多くなった事があげられま
す。
毎日違う献立を食べられるってす
ごいなあ。と思うとともに料理の種
類の多さにまだまだ勉強が足りない
と思いました。

活動の紹介

大地

生活支援員 山田 欣恒

本年度、「大地」は、男性利用者五
名、女性利用者四名の計九名で活動
をスタートしました。

コロナ禍により、様々な活動が制
限されるなか、利用者の皆さんと、
コロナウイルスを理解し、大地の活
動を見直しました。

三密、ソーシャルディスタンスな
どの新生活スタイル、感染症対策を
作業内容、作業場所に取り入れるこ
とで、ほぼ従来の活動を行えるよう
になりました。

今年度も、身体機能の維持・向上
を図ると共に自立した生活態度を培
う事を目標に活動しています。

木工作業では、個々の技術を生か
して作品作りに励んでいます。

販売する機会は減ってしまいまし
たが、皆様の前で販売できることを
楽しみに、心を込めて作品を制作し
ています。

またアルミ缶の回収も継続してい
きますので、地域の皆様のご協力を
お願い致します。

あおぞら

生活支援員 熊山 浩之

今年度の「あおぞら」は計四十名
でスタートしました。Aグループ十
五名、Bグループ九名、Cグループ
七名、Dグループ七名、Eグループ
二名の五グループに分かれ、個々の
体力に見合ったコースを歩き、筋力
低下防止と体力維持を目的として、
皆で元気に過ごしていきたいと思っ
ています。

コロナ禍で活動の制限はありますが、各グループ歩行活動だけではな
く、屋外活動として、マイクロボス
で、近隣の公園に向き、遊具やボ
ールで体を動かしたり、浜風を感じ
ながら砂浜を散歩するなど、リフレ
ッシュできる計画も立てています。
また、園内でも楽しめるレクリエー
ションを企画し皆で協力し楽しんで
ゲームなどを行っています。

利用者さんに進んで活動へ参加し
て頂けるように、これからも職員一
同協力してたくさんの方の楽しい計画を
立てていくよう頑張りますので、よ
ろしく願っています。

スポーツの力くスポーツクラブ

生活支援員 藤井 優

昨年からのコロナウイルス感染症の流行に伴い、中々外に出る機会が少なくなり、利用者さんもストレスがたまっていると思われま

す。スポーツクラブでは身体を動かすことにより、心身共にリフレッシュし、少しでも生活の質を上げられるよう様々な計画をしていく予定です。学園の立地を活かし、海・山など自然の力も借りてコロナ過でも満足できる支援を心掛けたいです。



清藤海岸にて岩場歩行

おやつクラブ

生活支援員 関 浩将

四月のおやつクラブの活動としてグラウンドでの焼き芋作りを行いました。天候にも恵まれ、青空の元で美味しい焼き芋を食べることができ、利用者さん達もほくほくとした笑顔でした。なかなか外出できない中、少しでも美味しく楽しい一日を過ごせるよう、今年度も利用者さんに寄り添った活動を計画していきたいと思



ちぎり絵に挑戦中!

「楽しみながら」美術クラブ

生活支援員 出川 奈央

今年度の美術クラブは、様々な技法や用具、素材を用いて楽しみながら作品を作り上げていきたいと思



ホクホクの焼きいもおいしいなー♪

みんな笑顔にく音楽クラブ

生活支援員 佐藤 順子

今年度の音楽クラブの活動は、ソニーチャルディスプレイに留意しながら好きな音楽を「聴く」、そして音楽に合わせて「踊る」、音楽の流れた映像を「見る」といった三つの視点から利用者さんが楽しめる内容を検討し、音楽に親しむ場を提供していき

たいと考えています。音楽の力を借り、コロナ禍でも、みんなが笑顔で学園生活が送れるよう計画していきます。



DVD鑑賞でリラックスタイム



4グループに分れて近場ですが
外出を楽しんでいます！

◆ 新人職員紹介



生活支援員

山田 成子

本年度より生活支援員として勤務させて頂くことになりました。利用者の皆様が、安全に充実した生活を送れる場を提供する事。笑顔で支援ができるように努めていきたいと思えます。至らない点も多く、今は先輩方に指導していただける事に感謝し、一日でも早く皆さんのお役に立てるよう成長するため一生懸命努めていきます。どうぞよろしくお願い致します。



調理員

高木 麻子

平成二十二年十二月からパートでお世話になっていましたが、四月から調理員として働かせて頂いております。慣れ親しんだ職場ではありませんが、初心に立ち返り、先輩方の親切な指導のもと、早く仕事を覚えるよう頑張ります。

また、利用者の方々に美味しい食事を提供できる様に努めます。よろしくお願ひします。



ヤクルト様より寄贈

おいしくいただきました！

年間予定

- 6 / 6 (日) 運動会 中止
 - 7 / 23 (金) 帰省日
 - 7 / 25 (日) 帰園日
 - 8 / 21 (土) 納涼祭 面会日
 - 9 / 18 (土) 帰省日
 - 9 / 20 (月) 帰園日
 - 10 / 17 (日) 面会日
 - 11 / 14 (日) 面会日
 - 12 / 19 (日) クリスマス会 面会日
 - 12 / 28 (火) 帰省日
 - 1 / 4 (火) 帰園日
 - 3 / 6 (日) 面会日
 - 3 / 25 (金) やよいの会
- ※コロナウイルス感染症の状況により随時、変更や中止があります。



大掃除

ワックスかけ、草刈りを行いました

ふれあい広場

― 善意を寄せられた方々 ―
○ 東静岡ヤクルト販売株式会社様
○ 中村真幸様
皆様のご厚意に御礼申し上げます

【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したリモートでの面会も実施しております。駿豆学園ホームページでもあすなろを閲覧出来るようになっていきます。アドレスは www.sunzugakuen.jp/ になります。ぜひ御覧ください。

編集後記

晴れわたった空に、新緑の青葉。すがすがしさを感じる季節になりました。今年度がスタートし、早いもので二ヶ月が経ちます。時間の流れは早いなど、日々感じます。毎日が無駄にしないようにと思います。今年度のあすなろも読んでくださる皆様に、駿豆学園の様子や利用者の方々の沢山の笑顔をお届けできるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。